

各 位

会 社 名 株式会社トラスト・テック
 代表者名 代表取締役社長 小川毅彦
 (JASDAQ・コード 2154)
 問合せ先 取締役管理本部長 伊藤博史
 電話番号 03-5777-7727

平成 21 年 6 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異
 及び通期業績予想の修正について

最近の業績動向、当社を取り巻く環境の変化等を踏まえ、平成 20 年 8 月 8 日に公表いたしました平成 21 年 6 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）及び平成 21 年 6 月期通期（平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）の業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 6 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値の差異
 （平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

(1) 連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 8 月 8 日)	7,557	424	436	336
今回修正 (B)	6,575	228	250	180
増減額 (B)-(A)	△981	△195	△185	△155
増減率 (%)	△13.0	△46.1	△42.5	△46.4
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 6 月期中間)	5,950	349	372	211

(2) 個別業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 8 月 8 日)	5,349	256	283	764
今回修正 (B)	4,438	74	104	604
増減額 (B)-(A)	△910	△181	△178	△159
増減率 (%)	△17.0	△70.8	△62.9	△20.9
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 6 月期中間)	2,868	42	225	220

(3) 予想との差異について（連結及び個別）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した全世界的な金融危機の影響による実態経済への波及が顕著になり、11月以降、景況感の悪化が急速に進みました。特に、製造部門における半導体業界に加え自動車関連業界でも急速な減産の影響を受け、それに伴う急激な契約の打ち切り等の事態に直面しました。

このような環境の下、当社グループは、技術者派遣事業に経営資源を重点投下するとともに、採用経費の圧縮、その他の経費の見直し等を行い販売費及び一般管理費の削減を行うとともに、顧客企業の求める人材ニーズに対応したサービスの提供、既存顧客との取引深耕、新規顧客の開拓等を積極的に努めてまいりました。

しかしながら急激な景気環境の変化により、当社グループの技術者派遣事業と請負・技能労働者派遣事業は当初予想を下回る結果となりました。事業別の状況は以下のとおりです。

（技術者派遣事業）

技術者派遣事業は、当第2四半期連結累計期間において経営資源を集中し、採用力・営業力の強化の為、採用センターを開設すると共に、CADオペレーター等に対応する営業所を開設し人員を増強する等、期初から先行的な投資を行いました。これに伴い売上高と営業利益等の増加を予定しておりましたが、景気環境の変化に伴い、新規契約の伸びが想定よりも鈍化いたしました。

売上高に関しては、一部の半導体業界及び自動車関連業界での減員があったものの、当第2四半期連結累計期間については製造部門に比べ、開発・設計部門での人材サービスの需要に大きな減速感が見られなかったことにより、売上高は当初予想4,253百万円に対し499百万円減の3,753百万円（前年同期2,778百万円、前年同期比35.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては採用センター及び営業所の開設等の人員増強を先行的に行ったため、販売費及び一般管理費等の比率が前年同期に対し上昇し、営業利益は当初予想344百万円に対し102百万円減の241百万円（前年同期271百万円、前年同期比10.8%減）となっております。

（請負・技能労働者派遣事業）

請負・技能労働者派遣事業においては、7月に組織改革を行い既存顧客との取引深耕及び新規顧客の開拓に注力いたしました。長年の請負のノウハウとコンプライアンスによる差別化を強みに全国展開を継続し、売上高と営業利益等の増加を計画しておりました。

しかしながら、11月以降の顧客企業の減産の影響を受け、派遣スタッフ数は大幅に減員となり、前期末（平成20年6月末）1,480名から、当第2四半期末（平成20年12月末）1,041名となりました。また稼働日数の減少や残業時間の短縮により、派遣スタッフ一人あたりの単価も低下いたしました。このため、売上高は当初予想3,297百万円に対し481百万円減の2,815百万円（前年同期3,165百万円、前年同期比11.0%減）と減少いたしました。

このような状況の中、採用経費の圧縮、営業拠点の統合等による販売費及び一般管理費の削減に注力いたしました。派遣スタッフの退職に伴う有給休暇のコストの増加等が発生し、売上原価が急激に上昇いたしました。これにより営業利益は当初予想80百万円に対し91百万円減となり、営業損失は11百万円（前年同期営業利益80百万円）となりました。

なお、個別業績については、平成20年10月1日に連結子会社の旧株式会社トラスト・テックを合併いたしましたので、当第2四半期（平成20年10月）より同社で行っていましたが技術者派遣事業が、個別業績の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益に寄与しております。加えて四半期純利益には合併に伴う「抱合せ株式消滅差益」として505百万円の特別利益が計上されております。

（特別利益に関する詳細は平成20年11月10日公表「子会社の吸収合併による特別利益の発生

に関するお知らせ」をご参照ください)

以上により、連結及び個別の第2四半期累計期間の業績予想に対し差異が生じる結果となりました。

2. 平成21年6月期通期の業績予想数値の修正
(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年8月8日)	16,340	1,077	1,100	988
今回修正 (B)	11,175	246	286	201
増減額 (B)-(A)	△5,165	△831	△814	△787
増減率 (%)	△31.6	△77.2	△74.0	△79.7
(ご参考) 前期実績 (平成20年6月期通期)	12,384	697	748	461

(2) 個別業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年8月8日)	13,889	874	926	1,418
今回修正 (B)	8,804	62	119	611
増減額 (B)-(A)	△5,085	△812	△807	△807
増減率 (%)	△36.6	△92.9	△87.1	△56.9
(ご参考) 前期実績 (平成20年6月期通期)	5,764	110	333	322

(3) 修正理由 (連結及び個別)

通期につきましては、平成21年1月以降、景気後退感は更に強まっており、人材サービスに対するニーズの減退は、半導体業界及び自動車関連業界から製造業界全般へと、また製造部門から開発・研究部門へと広がっており、製造部門に加え開発・設計部門においても、契約更新の打ち切りが増加することが予想されます。

このような環境の下、売上高は前回発表予想より5,165百万円減少して11,175百万円となる見通しであります。営業利益、経常利益及び当期純利益につきましても、売上高の減少に伴いそれぞれ営業利益は246百万円(前回予想比:831百万円減)、経常利益は286百万円(前回予想比:814百万円減)及び当期純利益は201百万円(前回予想比:787百万円減)となる見通しです。

事業の種類別セグメントの業績予想は次のとおりであります。

(技術者派遣事業)

技術者派遣事業においては、多くの顧客企業が4月以降の新事業年度を迎えるにあたり、開発・設計部門における人材サービスの活用に関して見直しを図ることが想定され、契約の終了が増加すると予想しております。この為、研修センターでの指導やスキル強化を通じて当社技術者の評価の向上を支援し、高稼働率の維持に努める他、本日開示の「組織変更と人事異動に関するお知らせ」の通り、コスト削減の為に拠点の更なる統廃合と、採用経費の削減を行って参ります。

これら背景により、技術者派遣事業の通期の売上高は当初予想 9,547 百万円に対し 2,874 百万円減の 6,673 百万円を予想しております。また、売上高の減少に伴い、営業利益は当初予想 869 百万円に対し 545 百万円減の 324 百万円となる見通しです。

(請負・技能労働者派遣事業)

請負・技能労働者派遣事業においては、派遣スタッフの急激な減少を伴う生産調整のピークは超え、減員要請は引き続きものの徐々に収束する可能性があります。景気動向を勘案、減少したスタッフ数の回復に関しては厳しい状況が続くものと想定されます。これに対し、食品・二次電池等の業界では人材サービスのニーズが堅調であることから、この種の業界での新たな取引先開拓に努め、スタッフ数の減少に歯止めをかけて参ります。

上記対応により、請負・技能労働者派遣事業の通期の売上高は当初予想 6,778 百万円に対し 2,291 百万円減の 4,487 百万円を予想しております。また、売上高の減少に伴い、営業利益は当初予想 210 百万円に対し 283 百万円減となり、営業損失は 73 百万円となる見通しです。

なお、個別業績については、平成 20 年 10 月 1 日に連結子会社の旧株式会社トラスト・テックを合併いたしましたので、当第 2 四半期（平成 20 年 10 月）より同社で行っていましたが技術者派遣事業が、個別業績の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益に寄与いたします。加えて四半期純利益には合併に伴う「抱合せ株式消滅差益」として 505 百万円の特別利益が計上されております。

(特別利益に関する詳細は平成 20 年 11 月 10 日公表「子会社の吸収合併による特別利益の発生に関するお知らせ」をご参照ください)

(ご参考 セグメント別の売上高・営業利益・スタッフ数)

(単位:百万円)

	第2四半期	今回通期予想
連結売上高	6,575	11,175
(スタッフ数)	(2,242名)	(1,735名)
技術者派遣事業	3,753	6,673
(スタッフ数)	(1,201名)	(955名)
請負・技能労働者派遣事業	2,815	4,487
(スタッフ数)	(1,041名)	(790名)
その他	6	14
連結営業利益	228	246
技術者派遣事業	241	324
請負・技能労働者派遣事業	△11	△73
その他	△2	△5

3. 中期経営計画について

従来より当社グループは、期初に事業年度の中期経営計画を作成し、3ヵ年の計画（ローリング方式）を公表しております。

この為、中期経営計画に関しましては、従来通り、翌事業年度開始時点での公表を予定しております。

本資料に記載されている業績予想等将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上